

## 1. 私は

令和5年度建設部門（道路科目） 片田舎の地方公務員OBです。

幸いにも、1回目の受験で一般部門に合格（成績：AAA）することができました。

受験して体験したこと、合格してはじめて意味を理解できたことが多数あります。（あくまで私個人の感じたこと、考えたことです）

自分の頭の整理と次の受験のために記録したものを情報共有します。

受験の添削は、「APEC-semi マンツーマン講座」を受講し、上限15回完走しました。

## 2. 私が受けた「マンツーマン講座」 全15回の添削

(1) 全15回は以下のように使いました。

悪い評価で落ち込み、褒められて（たまにですが）モチベーションを回復できたと思います。

1～6回（1月～3月末） 出願書類の添削

ある意味、これが一番難関でした。個人の経験なので参考例もなく悩みました。

自分の業務の棚卸しを十分に行い、添削を重ねるだけです。

特に1回目には、「落ちる人の典型です」の指摘を受け、奮起せざるを得ませんでした。笑）

7～15回（4月～6月中旬） 必須Ⅰ 5回（再提出含む）

選択Ⅱ 1回

選択Ⅲ 3回（再提出含む）

※2週間程度に1回提出の頻度で継続

(2) APEC 師に指摘された主な内容です。

a) 課題抽出時のロジック展開に著しい飛躍が無いように書くこと。

（問題→原因・分析→課題→具体例） 私は、原因・分析が最も苦手です

b) 課題の抽出は、もっと掘り下げて（絞り込んで）明確にすること。

c) 設問3、4で具体例を書くようにすること。

d) 答案のバランスを守ること。（設問3、4も相応の配点があるので文書量を確保する）

(3) 受験前には、以下の言葉をいただきました。【最重要】

e) 試験では、どんなにいいことを書いても題意に沿っていなかったらダメ

f) 自分の知っていることを書くのではなく、出題者が書いてほしいと思っていることを書く

## 3. 私の考えた大事なこと

(1) 何を採点されているのかを理解すること

要はコンピテンシーです。口頭試験の際にも重要です。最初から意識しました。

(2) モチベーションの維持

絶対欲しい技術士手当、負けられない相手がいる、将来の再就職、マズローの自己実現

人それぞれ様々な理由があります。

私は、家族の理解を得て、飲み会を減らして、1月～7月まで1日2～3時間やりました。

しかし、体が資本ですので、疲れたときは休みましょう。私も6月に一週間休養しました。

(3) どうすれば10%に入り込めるか

合格率は、受験者で10%です。講座の受講者で30~40%程度と聞きました。

私が合格するために「何をするか」「何ができるか」を考えることが重要だと思いました。

#### 4. 解答の記述にあたっての私が注意した点

(1) 主語と述語を確認する。文中で、両者をできるだけ近づけて読みやすくする。

(2) 結論は短い文書で、文頭に持ってくる。

(3) 添削提出の際には2~3日寝かす。最低一晩

必ず直すべき(直したい)箇所が見つかります。

長い経験上、自分の文書は、叩けば叩くだけ、ほこりができるものと肝に命じています。

(4) まず、ワンパターン(定型化)で書けるように自分の型を決めて、覚えました。

合格例から書きやすくしてじっくり来るものを選びました。その後、指導も受け固めていきました。

本番中には、文の配置、言葉の順番、接続詞などを考える余裕はないと考えました。

(5) 読んだ人に理解してもらえるか?10%に入ることができるか?いつも自分に問いかけました。

(6) 添削者から合格圏内の判定(いわゆるA)をもらってからが自分の仕事と考えました。

添削で終わりではなく、腹落ちできる自分の言葉に直すことで、覚える・使えることができます。

また、本番で変化球に対応できる。と信じています。

(7) 専門的知識は広く浅く

タイトルを入れて6~8行です。私には深い知識はありませんし、書けません。

短く、自分の言葉(自分では「キラーコンテンツ」と名付けています)で書くようにしました。

(8) 審議会資料の内容は受験者みんなが書けます。言葉の丸写しでは10%には入れないと考えました。

審議会資料は、さらっと見て骨子の参考とし、その詳細は、業界新聞を併せて理解しました。

(無料記事で十分です)

#### 5. 参考資料や本

(1) 予算資料(国土交通省TOPから「予算・税制」です)

最新の国の考えがわかるので、基本この内容を主にするのが最も近道と考えています。

(2) 審議会資料

概要版を読んで、内容が「複数課題」「解決策」と整理されているものが多く、作っている人も技術士(同等含む)ではなかろうかと勝手に思っています。

※国交省の皆さま、いつもわかりやすい資料をありがとうございます。

(3) 国土交通白書

記述数字の根拠や「あと10文字、ワンセンテンスほしい」時などは、白書が便利です。

(4) 業界記事

有料:日経コンストラクション

無料:日経新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞

(5) 雑誌

月間道路（日本道路協会） 道路建設（日本道路建設業協会） 月間建設（全日本建設技術協会）

(6) 書籍（おすすめのみ）

- ・技術士第二次試験 建設部門 最新キーワード100 日経コンストラクション  
全て見る必要はありませんが、関係部門と1章2章は「なるほど」と参考にしました。  
迷える子羊は買って損はないでしょう。これが毎年3月に発行なら文句なし。
- ・技術士第二次試験「口頭試験」 受験必修ガイド 日刊工業新聞社  
版が新しくなれば良いのではないのでしょうか。
- ・独学・過去問で効率的に突破する！最新版「技術士試験」勉強法 鳥居直也著  
ちょっと古いですが、おすすめておきます。

(7) 内容は検索性を重視して、OneNoteにインプットしました。

(8) その他 Web 記事、Youtube 多数 記事を書いている皆さん、本当にありがとうございました。

## 6. 各解答

本試験に向かって以下の準備を行いました。

- ・せっかく準備したのに、本番で書けないと悔やみきれないです。
- ・採点者が飽きないようにするために、見やすい箇条書きも有効と考えています。
- ・6月からは、PCでの作成を止め、手書きで3枚/日を日課としました。
- ・手書きは1枚ごとに時間測定を行い、20～23分/枚の速度で記述できました。

(1) 必須Ⅰ 成績：A

準備した解答例 5例（3課題+解決策+リスク+倫理、社会の持続可能性のフルセット）

その他、使い回しのできる課題を単独で10例

(2) 選択Ⅱ－1 成績：A（Ⅱ－2合算）

準備した解答例 19例

かなり予想を練り上げたが、1つも当たらず撃沈。なんとか1枚を埋めることができました。

(3) 選択Ⅱ－2 成績：A（Ⅱ－1合算）

準備した解答例 7例

この問題は余り苦しなかったので、記述パターンだけ押さえました。

手順のPDCA、ステークホルダーの選択と調整、人員や予算などの配分に注意です。

道路局で最近作成した「〇〇の手引き」「□□のマニュアル」の事例で確認しました。

しかし、コンピテンシーを忘れがちです。合格者の論文を読んでその表現を研究しました。

(4) 選択Ⅲ 成績：A

準備した解答例 4例（3課題+解決策+リスクのフルセット）

必須よりも専門技術の部分を多めに記述するよう心がけました。

## 7. 記憶への定着

全ての作成解答、覚える数字を全て MP4 化、通勤車内（往復 1 時間）やスマホで覚えました。

作成ソフト：PowerPoint、VOICEVOX、音読さん（音声読み上げソフト）

※このスキルが、後の口頭試験対策にも役立ちました。

## 8. 試験会場にて

### (1) 体調管理して参加

筆記試験本番は朝から夕方まで頭と腕を使いまくります。十分な準備は必要ですが、睡眠を取り、体調を整えて望みました。また、解けない問題にあたった際にも、次に繋がる経験値を獲得のため、欠席や中途退席はしないつもりで本番に望みました。

### (2) 開始の緊張

緊張のあまり、開始 5 分は頭が真っ白でした。（想定外）

自分にはこんなことは無縁とと思っていましたが・・・油断

何もできません。あせらずに、わかるところから骨子作成していきました。

### (3) 筆記具 0.5 シャープペン 3 本 0.7 シャープペン 2 本 消しゴム 3 個 透明な定規

なにかがあっても大丈夫な準備はしました。

### (4) 服装 外は 35℃ でしたが、室内は冷房が効きすぎでした。1 枚長袖がほしかったです。

### (5) 昼食 会場近くでのコンビニは混雑や品切れのリスクを考え、ホテル近所で確保しました。

衰えている脳にエネルギーを与えるドリンクも準備しました。笑）

### (6) 受験番号 受験番号 選択番号 ー絶対忘れずに！

受験番号や専門などは、試験開始前に記入時間がありました。しかし、問題の選択番号は試験中に記入する必要があります。大きく◎を付けて（消せる濃さで）絶対記入漏れのないようにしました。

### (7) 午後の記載順番

午後の選択問題は、Ⅲ、Ⅱ－2、Ⅱ－1 の順番です。先の問題用紙は見ないようにしました。

### (8) 残時間ですること

見直し→乱暴な走り書きなどの修正です。読むのは人間ですから。

### (9) 今年の出題と準備した論文について

必須Ⅰ：◎的中 専門Ⅱ－1：×撃沈 Ⅱ－専門2：△想定内 専門Ⅲ：×撃沈

## ○最後に

最後に、沢山の皆様のご指導・ご助力により合格することができました。

この場をかりまして、改めて感謝申し上げます。

特に初めての受験者の参考になれば幸いです。